広報にのみや

第45号

発行所 二宮町役場 電話二宮(0463)7-0767

印刷所 池田印刷所 電話二宮(0463)7-0120

町の人口動態

昭和37年4月1日現在

世帯数	3,123世帯
人口総数	14,155人
男	6,922人
女	7,233人
面積	8.96km

納期カレンダー

- 4月 固定資産税 一期
- 4月 軽自動車税 全期
- 6月 町県民税 一期
- 7月 固定資産税 二期
- 8月 町県民税 二期
- 10月 町県民税 三期
- 12月 固定資産税 三期
- 1月 町県民税 四期
- 2月 固定資産税 四期

納税はその日〳〵の心がけ

今年の町長施政方針

住宅政策で町発展へ

診療所を委託経営に

三十七年度町予算を審議した三月定例町議会第一日目の三月十九日に、西山町長は、予算提案に先だつて、予算編成の方針を説明、新年度予算には、土木と保健衛生施設に重点をおいた編成がなされ、町民の要望が多い土木事業に千百万円を投資、衛生施設には、じんかい焼却場を新設、し尿処理には、吸上車を更に一台購入などで住民の福祉増進につとめたいと方針をあきらかにした。とくに今后二宮町を住宅地として発展させ、道路と福利施設を更に充実したものにしたいと強調、そのうち道路事業の四、五ケ年計画の構想を示した。次に、町長が説明した施設方針の主なところを転載します。

一般特別会計 予算総額1億3百万円

先づ冒頭に二宮町今后の発展の方策につき所信を申し上げます。

二宮町においては、ただ今まで工場誘致につき希望者は多数来町して敷地のあつせんなどを依頼されましたが、地域狭少のため地価が割り高であるので、その実績は皆無といつてよく、むしろ地形環境に恵まれておるのでこの町を住宅地として発展させるべく何等かの今后の方針につき考えなければならなかつたのです。

ご承知のとおり、一昨年十一月県住宅公社より一色中里を団地として開発の話しがあり、議会および関係者に協議しましたところ、全員一致この計画を支持され、協議に協議を重ね、昨年十一月で土地買収を完了した。

整地のため降雨などの場合出水量の増加をうれい、葛川の河川改修も同時に県がおこなうことになりその用地などにつき議会議員のご支援を得て協力しているかゝる状態に町が、かわりつゝあることは、今后町発展の方針に住宅政策を取り入れることが最適と思う

先づ住宅政策の骨子は、道路と厚生福利施設でありそのうち道路事業につき今后四、五ケ年の構想を簡単に説明します。

二宮駅北口より橘町上の窪に至る線、釜野より団地に至る線、釜野中里線、二宮駅北口より国府に至る線田代開発線、梅沢より茶屋に至る海岸線、梅沢より下町に至る海岸道路下水事業などがあげられる。

二宮駅より団地に通ずる道路を整備することは、何としても必要であると思われます。これは都市計画事業の一環である公共事業によつておこないたいと思うので議会皆さまの協力をお願いしたい。

なお、海岸バイパス線の推進にも最大の努力をする覚悟でおります。

土木と保健衛生施設に重点

次に本年度予算編成方針を申しあげます。

本年度一般会計予算総額は、八千六百十五万八千円で、前年度当初予算より千九百七十七万八千円増で、増加の主なものは、町税、地方交付税、寄附金、繰入金であります。

歳出の重点は、土木と保健衛生施設におきました。

土木は、総額千七百万円このうち工事費に千百万円を投じた。大体、町民より要望があつて議会で採択され、前年度からの継続事業が主であります。

衛生施設は、多年懸案となつている町の浄化の一環として、四百十五万円を投じ、じんかい焼却場を作りし尿処理にも吸上車を更に一台購入して吸取りの円滑化を計ることに措置した。

教育関係の施設は、一応不十分ながらも整備されたので、本年度は、新施設造成を見送つた。いずれ団地など完成のときは、人口増により施設の新設等も近い将来には考慮しなければならない時期が迫つてくると思います。

産業方面は、時代の急速な進歩によりすべて従来のやり方では時代に合わなくなつたと思うので、先づ農業においても経営方針を変えなければならない時期です。特に当町は、団地などの造成で耕地面積が減少し営農方針の変更を余儀なくすることに拍車をかけられたわけで、幸い当町の農家は、果樹栽培や酪農に十分経験があるので、農家としては、この方面に力を注がれるよう僅かであるが、この面に研究費を計上した。

団地完成と同時に、二宮町にも商工業の発展を策さなければならないと思い特に二宮特産品の新鮮なものを団地人に使用していただく方策も必要であると思う

◇特別会計

国保、農業共済は、昨年にくらべ特別取り立てて申しあげることはありません

診療所予算は、本年度から委託経営方式を取ることとし、そのような予算措置をしました。

37年度町一般会計予算の内容

400万円で塵芥焼却場建設
土木事業に1.100万円を計上

すでに決定され、4月1日から運営されました37年度町一般会計歳入歳出予算8,615万円の内容を事業を主にしたものの概要を説明します。（　）内は前年度予算との比較

【歳　入】 ①町税45,209,510円（7,856,213円増）

◇町民税1,897万円◇固定資産税1,721万円◇軽自動車税50万円◇町たばこ消費税477万円◇電気ガス税374万円

②地方交付税12,969,000円（3,025,000円増）

③公営企業および財産収入38,760円（49,049円減）

財産収入減

④使用料および手数料 3,048,120円（647,820円増）

◇公民館使用料4万円◇プール使用料24万円◇戸籍住民登録などの手数料40万円◇汚物処理手数料 236万円

⑤国庫支出金 2,184,772円（251,724円増）

◇教育関係のもの55万円◇消防関係のもの12万円◇国民年金関係のもの30万円◇措置児童に 120万円

⑥県支出金 5,389,531円（572,983円増）

◇土木費補助金99万円◇社会労働施設費補助金15万円◇保健衛生費関係のもの21万円◇産業経済費関係のもの24万円◇選挙費委託金19万円◇県税徴収事務費委託金27万円◇地方振興助成交付金 300万円

⑦寄附金 416万円（2,0 0,600円増）

◇日吉上道線側溝改良工事受益者寄附金 0万円◇県道舗装工事寄附金 400万円◇武市時計店横道路舗装工事寄附金4万円

⑧繰入金 2,746,532円（2,746,532円増）

◇職員退職給与積立金繰入 105万円◇財政調整積立金繰入 169万円

⑨繰越金 849,000円（101,000円減）

前年度繰越金

⑩雑収入 7,062,775円（252,847円増）

◇国民年金印紙売払代金80万円◇共同作業所工賃戻入 502万円◇預金利子20万円◇保育料徴収金60万円◇小児マヒ予防接種徴収金7万円

⑪町債 250万円（250万円増）

【歳　出】 ①議会費 3,789,050円（823,084円増）

②役場費22,996,505円（5,586,267円増）

部落振興助成金24万円

③消防費 2,783,002円（85,810円減）

◇第3分団器具置場拡張、梅沢、釜野河川止改修費などに10万円◇防火水槽2ケ所新設費（20立方米）40万円

④土木費17,385,268円（8,731,018円増）

◇原田線側溝流末修繕費（秋葉神社入口延長35m）13万円◇中向浜線改良費（中学校～中町公会堂前延長 140m、巾4m） 203万円◇内原線舗装費（36年度施行済ケ所～公民館、延長220m、巾5.5m）210万円◇ひばり田線改良費（茶屋薬師堂裏より西へ延長310m、巾4m） 77万円◇妙見線改良費（柳川牛乳附近延長30m、巾4m）33万円◇武市時計店横舗装費（延長30m 巾2.4m）17万円◇栗谷線改良費（診療所下附近より北へ延長350m巾4m）80万円◇前狭間線改良費（妙見田代入口延長55m巾4m） 50万円◇日吉上道線側溝改良費（下町梅田さん入口 延長102m）34万円◇獅子岩線改良費（釜野～川匂延長627m巾6m）220万円◇新田橋架替費（元町大正湯裏、コンクリート橋延長15m巾2.5m）120万円◇一色北根橋架替費（一色農協前コンクリート橋延長7.2m巾3m）40万円◇土木器具資材用倉庫新設費12万円◇県道秦野～二宮線舗装工事町負担金（中里部落附近） 400万円◇小型トラック購入25万円◇葛川局部改修工事用地補償金（5.500坪分）110万円

⑤教育費9,412,897円（1,534,179円増）

◇小学校費183万円◇中学校費160万円◇学校保健衛生費56万円◇青少年教育費11万円◇成人教育費7万円◇公民館費34万円◇町民体育大会費10万円

⑥社会および労働施設費8,949,300円（1,367,734円減）

◇慰霊祭費5万円◇敬老会費8万円◇職業補導所費19万円◇共同作業所費 507万円◇国民年金費91万円

⑦保健衛生費10,492,279円（4,624,465円増）

◇伝染病予防費52万円◇結核予防費28万円◇衛生管理費59万円◇し尿三輪車1台購入99万円◇じんかい焼却場建設費417万円◇じんかい四輪車1台購入50万円

⑧産業経済費 3,070,730円（50,324円減）

◇農業委員会費 116万円◇農業費76万円◇畜産業費14万円◇商工業費31万円◇観光事業費18万円◇海水浴場費46万円

⑨財産費 289,605円（1,030,382円減）

営造物管理費25万円

⑩統計調査費19,200円（55,230円減）

商工、経済、学校、衛生、人口などの各種統計調査費

⑪選挙費 993,347円（917,717円増）

◇選挙管理委員会費56万円◇参議院議員選挙費18万円

◇町長および町議会議員選挙費25万円

⑫公債費 1,018,424円（110,400円増）

小学校一色分校々舎、第3分団消防ポンプ、二宮小竹線道路改良、中学校増改築などの事業元利償還金

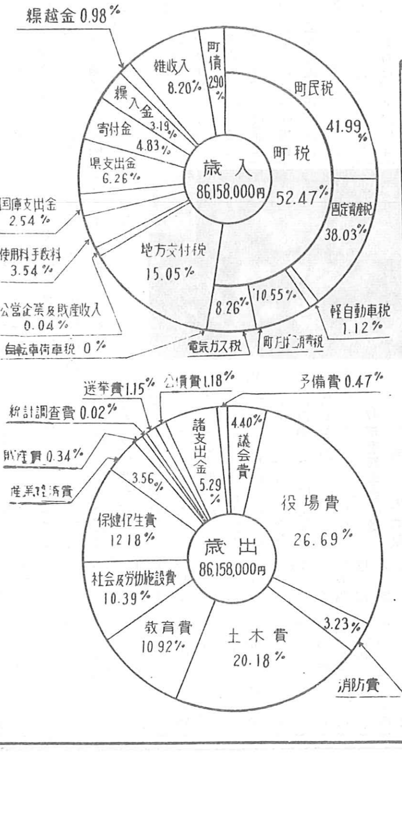
⑬諸支出金 4,557,430円（52,856円減）

◇徴税費 144万円◇国保特別会計へ繰出金 200万円

◇土地開発費60万円（一色中里団地関係報償費30万円、町土地開発費30万円）

⑭予備費 400,963円（93,206円増）

昭和三十七年度二宮町歳入歳出予算款別比率



3月定例町議会

ことしの予算を審議

区長などの報酬引上げ

昭和三十七年度町一般、特別両会計予算を決める三月町定例議会は去る三月十九日に役場会議室に招集。会期を八日間と決め、特別職員報酬費用弁償の額並びに支給方法条例の一部改正、町職員定数条例の一部改正、三十七年度町歳入歳出予算をふくむ議案十三件、前狭間道路新設の請願、西湘バイパス道路早期着工に関する決議（別に掲載）などの審議がなされ、特に予算案は、各常任委員会でも審査がおこなわれいずれも可決、同月二十六日に閉会した。可決された主なものは次のとおりです。

○議案第17号・歳計現金預入先について

本年度町の歳計現金預入れ先は、次の五機関に決つた。

(株)横浜銀行二宮支店、日本勧業銀行平塚支店、中南信用金庫二宮支店、二宮町農業協同組合、二宮郵便局

○議案第18号・町職員定数条例の一部改正

三名増員で町職員は五十八名になつた。

○議案第19号・特別職員報酬費用弁償の額並びに支給方法条例の一部改正

町行政委員の報酬を次のとおり改正した。（）内改正前

選挙管理委員会委員長日額七百円（五百円）、同委員日額六百円（五百円）、学識経験監査委員日額千四百円（千二百円）、議会選出監査委員千二百円（千円）、農業委員会会長月額千円（九百円）、同副委員長九百円（八百円）、同委員八百円（七百円）、固定資産評価審査委員会委員日額六百円（五百円）、衛生委員日額四百円（五百円）、区長年額一万二千円（八千四百円）、社会教育委員日額五百円（四百円）、民生委員推せん委員会委員日額四百円（三百円）、教育委員会委員長月額千二百円（九百円）、同委員千円（七百円）、公民館運営審議会委員日額四百円（三百円）国民健康保険運営協議会委員日額四百円（三百円）、農業共済損害評価委員年額二千三百円（二千円）

○議案第20号・町農業共済事業予定計画

本年度町農業共済事業に必要な計画案を原案どおり承認された。

○議案第21号・本年度町農業共済事務費賦課額

賦課総額は十一万四千七百円で、賦課単位は水稲共済割（一反）九十円、陸稲（一反）三十五円、麦（一反）四十円、家畜（一頭）四百円、均等割（一人）五十円にそれぞれ決つた。

○議案第22号・本年度町歳入歳出予算

可決された予算内容は、別に掲載しました。

○議案第23号・本年度町国保特別会計歳入歳出予算

この会計の本年度歳入歳出予算総額は千三百六十五万円で前年度当初予算額千百四十八万円より二百十七万円増額された。

○議案第24号・本年度町国保診療所特別会計歳入歳出予算

この特別会計の本年度歳入歳出予算総額は二百四十四万六千三百円で前年度当初予算額百九十二万二千円より五十二万四千三百円増額された。

○議案第25号・本年度町農業共済事業特別会計歳入歳出予算

本年度農業共済事業の歳入歳出予算総額は百六十六万六千百十六円で前年度当初予算額千六百万三百四十七円より六万五千七百六十九円増額された。

○議案第26号・町国保診療所条例の改正

本年度より診療所事業を委託経営するため、それに添うよう条例を改正した。

○議案第27号・町国保診療所事業委託について

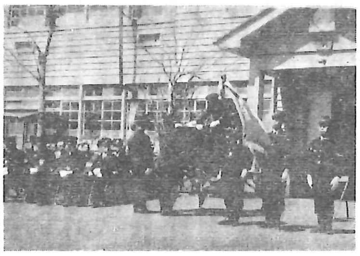
本年度より診療所の事業を木嶋裕一医師に委託するため、契約書の承認がなされた。

町消防団が表彰

消防庁長官の竿頭綬

町消防団は、消防力の拡充強化を認められ、三月十日、国家消防庁長官より消防団の名誉である竿頭綬を受け表彰された。

その表彰伝達式は、来賓多数の出席を受け三月二十八日町小学校々庭でおこなわれた。なお、同日日々消防に理解と協力をいただいている団員家族の慰安会もあわせておこなわれた。



町消防長より竿頭綬を受ける団長

町消防役員改選

団長に原兼太郎氏

町消防団では、役員の任期満了により、後任の役員に次の方々を選びました。任期は二年。

団長　原兼太郎（下町）
副団長　柏木智義（一色）
〃　野谷万三（元町）
分団長
第一　西山吉蔵（越地）
第二　池田準一（中町）
第三　柳川賢二（元町）
第四　高橋喜久治（中里）
第五　橘川芳太郎（一色）

バイパス道路

早期着工の決議文

町議会で関係機関に提出

交通事故の増加は、現在大きな社会問題となつている。事故をなくし、人命の安全をはかることを世論は強く望んでいる。

町議会でも、交通事故防止対策に国道の交通量緩和を新設道路によつてある程度計るべきであると「西湘バイパス道路早期着工に関する決議」案が、三月定例議会に議員提案がなされ、全会一致で可決された。

この決議文は、次の内容をもつて、政府および県当局、県議会などの関係機関に去る三月二十六日付で提出された。

◎決議文の内容

西湘バイパス道路建設には、当町並びに大磯、橘、小田原の関係市町により期成同盟会を結成推進方陳情を続けております。

近時特に大磯から二宮、橘町を経て小田原市に至る第一国道に集中する車輌による交通事故は、目に余るものがあり、この集中する車輌は、宗浜地区より阪神地区に至るには、大磯町の中央までは、海岸遊歩道路と併行している国道のため交通はある程度緩和されているも、これより西に至る小田原市までの間は、その路線は一本路線であるため東走、西走の車輌は一斉にこの区間に集るため、沿道居住者は走る兇器に日夜戦つている。政府当局においてはこれが交通事故対策がなされておられるようですが、政府並びに県当局、県議会または、町当局においても交通事故防止の対策について実状ご賢察の上、早急に本事業に着手されますよう関係機関に要請する。

運転手や大人の手で、子供や児童を交通事故から守りましょう

始つた婦人学級

テーマーに〝青少年の育成〟

去る3月14日より昭和36年度最後の婦人学級が開講された。今回は公民館を親学級に、子学級を一色、中里、元町を中里児童館で参加者四十三名、下、中、上町を下浜公会堂で四十名、山西地区を越地公会堂で三十二名、総員百十五名の親子学級で運営されている。

テーマーは、〝青少年の育成について〟そのねらいを子供の成長発達に即した正しい導き方においてある

三地区とも開設中に中間研究報告を二回おこない、お互いの資料を交換することになつており、学級運営には、同期間中に三回指導者講習会を計画、新しい婦人教育のあり方について研究されることになつている

今后の日程は、4月に4回、5月3回で閉講は5月11日に公民館で行われる。

心配ごと相談室

だれにも言えない生活上の「なやみや心配ごと」などの相談に応じる5月の心配ごと相談室は、次により開かれます。

ご希望者は遠慮なく、そつと係員に訴え、相談に応じて下さい。

◇とき…5月16日（水）10時～15時
◇ところ…二宮町公民館
◇相談員…家庭裁判所、福祉事務所、保健所、町民生委員、人権擁護委員の関係係員ほか。

県警より表彰

防犯協力の梅沢青年

梅沢青年会は、会員の手で十四年間、部落の夜警を引受け毎年冬期の二ケ月間おこなつている。その間、部落の防犯や安寧秩序に協力、まじめな活動と功績に昨年町と大磯警察署から表彰を受け、今度は、県警察本部長から表彰され、四月五日大磯署で伝達された。

団員を募集！

吾妻合唱団で

私達の合唱団は、昨年の五月に生れ、お店や会社で働く人や学生など二十余名で成り毎週一回、童謡やポピュラアを主に練習、その間町文化祭に参加、また施設の慰問、湘南や県の合唱祭にも参加を計画、大いに活動して町の文化発展に役立ちたいと思います。どなたでも結構です。参加下さい、希望者は、次に出席下さい。

○練習日…毎週木曜日　夜6時半～8時半
○ところ　二宮町公民館
◇詳細問合せは、上町川本常雄宅（電七～〇八九五番）

歴代役員が一堂に会した

青年会45周年記念式

古い歴史と伝統をもつ二宮町青年会は、大正四年に発足、今なお活潑に活動がなされているようだ。

その青年会は、36年度で四十五周年を迎へ、去る三月二十五日町公民館で記念式典が盛大に催された。

歴代役員は約五百名からなり、当日は八十名の役員が出席、思い出話しや今后の青年会について話し合われ、最后に昨年全国青年大会に出場した茶屋支部の演劇を上演、盛会のうちに幕をとじられた。

◇37年度青年会役員
会長　西山実　茶屋
副会長　田島皓二　上町
〃　脇チヨ子　〃

記念式典風景

ことしの部落区長

37年度の部落区長が次のとおり決りましたのでお知らせします。

一色	杉浦国義	（新）
中里	西山泰蔵	（新）
北新道	川口朋平	（再）
妙見	野谷仲造	（新）
原田	井上安太郎	（新）
谷戸	大曽根金蔵	（新）
南新道	曽我彌助	（再）
上町1	奥川善右ヱ門	（再）
上町2	杉山茂	（新）
上町新	山田豊	（新）
中町	浜井庄太郎	（新）
下町1	山崎国光	（新）
下町2	吉川浅次	（新）
下町3	本多増五郎	（新）
梅沢東	石井一郎	（新）
梅沢中	栗原精一	（新）
梅沢西	脇政五郎	（新）
越地	野谷時太郎	（再）
茶屋	山田近造	（再）
釜野	小崎治助	（新）
通川匂	椎野福蔵	（新）
入川匂	善波祐次郎	（再）